

会議録

会議の名称	第2回 都城市上下水道料金等審議会
開催日時	令和7年1月16日（水）午後2時00分
開催場所	mallmall 未来創造ステーション
出席者氏名 （委員）	平岡会長、鈴木委員（オンライン）、天神原委員、坂元委員、 柿木原委員、轟木委員、杉元委員、川村委員、松宮委員（計9名）
欠席者氏名 （委員）	小西委員
事務局	石川上下水道局局長、横井総務課長、内山総務副課長、丸田水道課長、 紺谷水道副課長、平田副主幹、益留副主幹、西副主幹、桑田副主幹、 築地副主幹、近藤主査、野田主査
傍聴者	一般傍聴者 10名 報道関係者 1名
次第	1 開 会 2 局長あいさつ 3 会長あいさつ 4 議 題 「水道施設の耐震化について」 5 閉 会

会議の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	【開会】開会を宣言。
局長	【局長あいさつ】 上下水道局長の石川でございます。 本日は、委員の皆様におかれましては、お忙しい中、第2回都城市上下水道料金等審議会に御出席いただき、誠にありがとうございます。 13日の夜、日向灘沖を震源とする地震が発生いたしました。委員の皆様や御家族、そして御自宅など被害はありませんでしたでしょうか。3連休の最終日であり、くつろいでいるさなかの大きく長い揺れに私自身も身の危険を感じ、屋外へ避難いたしました。 本市においては幸いにも大きな被害は報告されていないものの、宮崎市では地震の揺れで水道管が破損し、付近の住宅2棟で断水があったという報道もございました。 また、気象庁の発表によりますと、今回の地震は南海トラフ地震防災対策推進基本計画で示されたいずれの条件にも該当せず、南海トラフ地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる現象ではないとのことでした。 しかしながら、8月に引き続き大きな地震が発生したことを受け、改めて施設の耐震化と災害対策の重要性を認識させられました。本市においても、こうした自然災害への備えを強化していく必要性を痛感しております。 前回の審議会では、水道事業の概要や企業会計の仕組みについて、本市の水道の歴史や能登半島地震の被災状況の写真とともに、御説明させていただきました。委員の皆様からは、水道管の耐震化に関することや諮問の内容についてなど、貴重な御意見を多数いただき、心より感謝申し上げます。 本日の審議会では、水道施設の耐震化について御説明させていただき、皆様からの御意見を賜りたいと存じます。国の方針や社会情勢の変化も踏まえつつ、持続可能な上下水道事業の実現に向けて、慎重かつ建設的な議論を進めてまいりたいと考えております。 水道は市民生活に直結する重要なライフラインでございます。安全で安定した水の供給を将来にわたって維持していくため、皆様のそれぞれの立場で、様々な御意見を賜りますようお願い申し上げます。 本日の審議が実り多きものとなることを祈念いたしまして、簡単ではございますが、私からのあいさつとさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。
会長	【会長あいさつ】 委員の皆様、本日は年始のお忙しい中、第2回都城市上下水道料金等審議会に御出席いただき、誠にありがとうございます。 前回の審議会では、本市の水道事業の概要や企業会計の仕組み、能登半島地震の状況について、事務局から概要の説明をいただきました。 本日の審議会では、水道施設の耐震化等について、更に説明いただける予定のようです。 昨年元日に発生した能登半島地震では、被災から1年が経過しているにもかかわらず、未だに断水が続いている地区があるようです。様々な課題が複雑に絡み合っていることのようにですが、改めて水道インフラの耐震化と災害対策の重要性を私たちに突きつけています。 先ほど局長さんもおっしゃられたように、ここ、宮崎では地震が頻発しております。私の仕事場は8階建ての6階にあるのですが、ずばらに置いていたものが落ちました。やはり被害に遭うと、しっかり普段からやっておかなければならないと改めて感じさせられます。 委員の皆様におかれましては、それぞれの御専門やお立場から、忌憚のない御意見をいただきますようお願い申し上げます。本日の審議が実り多きものとなることを願い、簡単ではございますが、開会のあいさつとさせていただきます。
事務局	【委員出席状況報告】 (委員9名の委員の出席) 都城市上下水道料金等審議会条例第7条第2項の規定により、会議が成立していることを報告。)
事務局	それでは、議事に入らせていただきます。 ここからの議事につきましては、平岡会長に進行をお願いしたいと存じます。 平岡会長、よろしくお願いいたします。
会長	次第に従い、進行いたしますのでよろしくお願いいたします。 では、議題「水道施設の耐震化について」事務局より説明をお願いいたします。
事務局	(資料「水道施設の耐震化について」により説明)
会長	「水道施設の耐震化について」、事務局から説明がありました。委員の皆様から御意見、御質問等がありましたら、よろしくお願いいたします。
委員	川東浄水場と母智丘配水池の更新で、58億円かかるということでしたが財源内訳はどのようになりますか。

会議の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	総事業費の５８億円のうち、その６割の３４億６千万円を企業債、残り４割の２３億２千万円を、我々企業の内部に留保している自前の資金で更新する予定としております。
委員	財源で内部留保資金等が示されていますが、貸借対照表などの資料の提示はありますでしょうか。
事務局	本日は準備しておりませんが、次回審議会で財務諸表をお示しする予定でございます。
委員	説明の中では、取水施設である井戸の耐震化が必要というようなお話がありました。事業計画の中には井戸の耐震化に係る事業費が含まれていないようですが、どのようにお考えでしょうか。
事務局	今現在６７本ある井戸について、耐震性を有しているか否かが分かっておりませんので今回の計画には入っていない状況です。来年度に井戸の耐震診断を行いまして、必要に応じて計画に加えてまいります。
委員	川東浄水場と菖蒲原浄水場以降の浄水場の更新計画の順番には理由がありますか。
事務局	基本的には古い施設から更新を行う計画としております。
委員	浄水場の担っている人口の多いところや過疎地域もあるが、そういうのは考慮しないのですか。
事務局	残耐用年数を優先して考慮しているのですが、人口規模や人口増等も考慮しながら、総合的に判断し計画的に行ってまいります。
委員	耐震化の全国平均は配水池が６７％と高いようだが、自治体が配水池の耐震化を優先しているからですか。
事務局	全国平均が高い理由については、把握しておりません。
委員	本日の審議の目的は、全国と比較し耐震化率が大きく劣っているため早急に耐震化を図る必要があることの説明だと理解している。 耐震化に必要な予算は非常に大きく、財源は企業債の借入ということだから、市民がこの先の長く続く大きな借金を背負うということを理解しながら、重要施設を優先して耐震化する必要があります。 また、全国と比べて耐震化が遅れてしまった理由の検証と今後の方針は検討するべきでしょう。 地方都市でここまで耐震化状況が悪いのは珍しいというのは委員のみなさんも頭にいれておいたほうが良いと思います。
委員	川東浄水場及び母智丘配水池の更新事業が終わったとしても耐震化率が全国より低いのは何が原因なのでしょう。
事務局	浄水場や配水池については、耐震化を行う施設の容量によって耐震化上昇率が決まります。そのため、川東浄水場関連の更新のみでは全国平均に届かないところです。今後も切れ目のない施設更新により耐震化の向上を図ってまいります。
会長	その他、質問等はございませんでしょうか。 それでは、以上で終了いたします。
委員	疑義なし
会長	以上で、すべての議題が終了いたしました。 今日は耐震化に特化した説明ということで、国の緊急点検や、本市の水道施設の耐震化について、計画的に更新を行っていく必要があるというお話でした。 次回、第３回審議会では、施設の耐震化や老朽施設の更新の必要性を踏まえ、経営の見通しについての審議があるということです。 委員の皆さまにおかれましては、御意見をいただき、ありがとうございました。また、議事の進行に御協力いただき、感謝申し上げます。 以上で、進行を事務局にお返しします。
事務局	平岡会長、ありがとうございました。それでは、全体を通じて、委員の皆様から何かございましたらお願いいたします。
委員	疑義なし
事務局	【事務連絡】 【閉会】閉会を宣言。